メディカルサポート体制について

本大会では、救急救命士5名、救命士養成学生5名、総勢10名編成の国士舘大学ウェルネスリサーチセンターの「モバイルAED隊」の方々による沿道救護を、大会本部の日比谷公園健康広場では、東京歯科大学市川総合病院の看護師3名の方に救護テントでのサポートをお願いしました。
国士舘大学「モバイルAED隊」は、東京マラソンでも第1回大会からサポートしている実績があります。

メディカルサポートの皆様のご協力により、ランナーのみなさまが安心して走りきることができました。

国士舘大学
ウェルネスリサーチセンター
「モバイルAED隊」の皆さん

Run for Vision

本大会の開催を支えて下さったすべての皆様に心より御礼申し上げます。

［後援］　厚生労働省、日本角膜学会、日本再生医療学会、日本抗加齢医学会、（公社）東京都眼科医会、東京麻布ライオンズクラブ、行徳ライオンズクラブ、市川パインツリーライオンズクラブ、東京視覚障害者ランニングクラブ、日本点字図書館、（公財）日本テレビ小鳩文化事業団、（公社）日本臓器移植ネットワーク

［協力］　関東学生陸上競技連盟、NPO日本盲人マラソン協会、児童劇団「大きな夢」、（協）日本俳優連合、国士舘大学ウェルネスリサーチセンター

［協賛］　ACUVUE、（株）サンクレスト、ユナイテッド航空、熊本県ライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会、参天製薬（株）、（株）シード、ノバルティスファーマ（株）、（株）ペガサスカーゴサービス、ファイザー（株）、（株）フカガワ、（株）ホワイトメディカル、（株）メディプロデュース、（医社）慶翔会新宿眼科クリニック、アステラス製薬（株）、（株）アールテック・ウエノ、（株）エスアールエル、（株）オグラ、興和（株）、（医）仁和会　熊本眼科医院、、千寿製薬（株）、日本アルコン（株）、HOYA（株）、（医社）南青山アイクリニック、（株）メディカル葵出版、ロート製薬（株）、ワシエスメディカル（株）、（株）モリア・ジャパン、大塚製薬（株）、（株）ドール、（株）フォーシーズ(PIZZA-LA)、ライオン（株）、コカ・コーライーストジャパン（株）、（株）薬研社、（株）コーナン・メディカル、富田商事（株）、ティー・ワイ・エクスプレス（株）、MSD（株）、理科研（株）、わかもと製薬（株）、（株）日本アルトマーク、（株）イナミ、（株）日本テレソフト、（株）日本ルミナス

［共催］　慶應義塾大学病院眼球銀行、（公財）静岡県アイバンク、（財）北海道アイバンク、（公財）山形県アイバンク、（公財）兵庫アイバンク、（公財）熊本県移植医療推進財団、読売アイバンク、一般社団法人日本スキンバンクネットワーク、杏林アイバンク、（公財）福井県アイバンク

東京歯科大学市川総合病院
角膜センター
〒272-8513
千葉県市川市菅野5-11-13
電話 047(324)5800
FAX 047(324)8590
ドナーホットライン：047-324-1010
（24時間対応）
URL:http://www.eyebank.or.jp/

台風の合間の
晴天の下、
進化を続ける
イベントが成功裏に
終了し、感謝＆感謝です。

すべては患者様のために。

EYE BANK
News Letter
発行日2013/10/24
第4巻第1号

ドナーファミリーの集い®

式次第

- 開会の辞
- ご挨拶
- こえ
- 歓談
- シンポジウム
- 合唱
- 閉会の辞

センター長　挨拶

この度は「ドナーファミリーの集い®」ならびにチャリティーマラソン「ラン・フォー・ビジョン®」にご協力、ご参加頂き厚く御礼申し上げます。

目の愛護デーにちなんで　平成10年10月10日に開始した本会も、お蔭様で16年目を迎えました。この催しは、御献眼頂きましたドナーの方々に感謝の意を表すると共に、視力の大切さとアイバンク活動について広く知って頂くために開催しております。

本年は、ドナーファミリーの集い®に185名、ラン・フォー・ビジョン®には、12名の視覚障害者と伴走者9名を含むランナー253名のご参加を頂きました。

今年からドナーファミリーの集い®の開催場所がイイノホールに変わりましたが、いろいろなお立場の方との交流を促す円卓の使用、アイバンクのこれからを考えるミニシンポジウムの開催などの新しい工夫もあり、より進歩した形で開催できたと喜んでおります。

また午後のラン・フォー・ビジョン®も、スタート地点の変更やタイムの計測が行われないなどの変化がありましたが、本来のチャリティーマラソン大会としての価値を再確認する良い機会となったと思います。この時期としては気温が高くランナーの健康面への影響が懸念されましたが、大きな事故もなく終えることができましたことは、国士舘大学ウェルネス・リサーチセンターの救護チーム、東京歯科大学市川総合病院看護部の方々などのボランティアの皆様のおかげと考えております。

私自身、角膜センター長を拝命して初めてこの日を迎えましたが、ご参加いただいた多くの皆様からお褒めの言葉を頂戴しましたことは大きな喜びであり、多くの時間と労力を割いて取り組んでくれた角膜センター・アイバンクのスタッフ一同の努力をこの場を借りて深謝したいと存じます。

このような活動は、続けてこそ一層の価値が生まれるものです。来年以降も引き続きのご支援とご参加をお願い申し上げます。

大会委員長
東京歯科大学市川総合病院眼科
角膜センター長　島﨑　潤

司会　木幡　美子様

東京歯科大学市川総合病院
副病院長　菅　貞郎

厚生労働省
菊田　高章様

ライオンズクラブ国際協会
第一副地区ガバナー
塩月　藤太郎様

ドナーファミリーの集い®

ドナーファミリーの集いでは、ドナーの皆様のご冥福をお祈りし、ドナーファミリーの方々の温くそして勇気ある決断に、様々な形で感謝の気持ちをお伝えしました。移植患者様の「会って直接お礼が言いたい」という言葉から始まったこの集いの趣旨に沿えるよう、今回は円卓をご用意させていただきました。ドナーファミリーの方々と移植患者様のみならず、両者をつなぐ医療従事者そして私どもの活動をサポートしてくださっているライオンズクラブや企業の方々が各テーブルで歓談しておられました。

会の前半では、ドナーファミリーからの故人への思いや角膜提供に対する考えを、また移植患者様の移植に対する思いや移植後のご様子などを朗読やビデオレターなどでご紹介し、それぞれの立場での思いを共有する場となりました。貴重なお写真をご提供いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

後半は、「これからのアイバンク」と題し、慶応義塾大学医学部 坪田一男教授、日本臓器移植ネットワーク 篠崎尚史専務理事、福井県アイバンク 米満ゆみ子コーディネーターに登壇いただき、これまでの角膜センターアイバンクの歩み、そしてアイバンクの現状と次の20年に向け論議が進められました。提供や移植を機に「アイバンク」と関わりを持った参加者の皆様に「アイバンク」をより理解していただく機会となりました。

作品展

会場入口のホワイエにて、移植を受けられた患者様、そしてドナーファミリーからお預かりした作品を展示しました。患者さまの光を取り戻され、生き生きと過ごされているご様子がわかり、その作品に込められた感謝の気持ちも皆様に伝わったことと思います。また、ドナーファミリーから故人へ思いを馳せた作品は、移植医療について考えるきっかけとなったことと思います。

その他、ご後援、ご共催いただいている（公社）日本臓器移植ネットワーク及び各バンクより、啓発のためのポスターなどを展示させていただきました。

児童劇団「大きな夢」

今年創立20周年を迎える児童劇団「大きな夢」の子供たちから、優しい歌声が贈られました。代表の青砥洋先生をはじめ、児童劇団「大きな夢」の関係者の皆様には、会の趣旨に賛同いただき、毎年たくさんの子供たちにご協力いただいています。

子供たちの響く歌声♪「千の風になって」が参加者の心をつなぎ、閉会を迎えました。

ラン・フォー・ビジョン®

午後は、ドナーファミリーの集い®が行われた会場から、隣接する日比谷公園に会場を移し、ラン・フォー・ビジョン®の開幕です。

雲ひとつない秋晴れの空の下、健康広場での開会式後、参加者はスタート／ゴール地点となる桜田門広場へ移動し、14：30、ライオンズクラブ国際協会330－A地区第1副地区ガバナー塩月藤太郎様によるスタート合図とともに、12名の視覚障害ランナーを含む総勢約250名のランナーが皇居周回コースをそれぞれのペースで完走しました。

ランニング終了後の閉会式では、各コースの上位入賞者の表彰と、協賛企業からご提供いただいた賞品が当たる抽選会があり、健康広場は温か　い拍手と歓声につつまれました。

本大会はチャリティーマラソンですので、みなさまからいただきましたご浄財は主催・共催を合わせた10のアイバンク及び組織バンクの活動推進のために役立たせていただきます。また、本大会の趣旨にご賛同いただき、早朝から開催準備をして下さいました協賛企業はじめ100名を超えるボランティアスタッフのみなさま、サポートスタッフのみなさま、ランナーのみなさまに心より御礼を申し上げますとともに、これからも一人でも多くの角膜移植を待つ方に光をお届けできるように一層努力して参ります。

関東学生陸上競技連盟

当大会では、関東学生陸上競技連盟に所属し、毎年、お正月に行われる「東京箱根間往復大学駅伝」に出場する各大学より選抜された選手達に、視覚障害者ランナーの伴走をお願いしています。

視覚障害者ランナーと息を合わせ、走り終えた選手達は、「大変良い経験ができた」と、若さあふれる清々しい笑顔を見せてくれました 。

こんな方々のご協力を得ています。心から敬意を表します！

関東学生陸上競技連盟の
選手たち

視覚障害者ランニングクラブ

なかなか運動の機会に恵まれず、健康維持増進が難しい視覚障害者達が、身体を動かし、汗を流すことの楽しさを分かち合い運動することを目的とし平成2年に発足されました。そのクラブのメンバー達が、当大会の第1回目より、走路監察を中心に視覚障害者のサポート、競技全般の誘導を行ってくださっています。今年も、40名のボランティアの方々のご協力を得ることができました。

注目

第17回「ドナーファミリーの集い®」
および「ラン・フォー・ビジョン®」

開催決定！　2014年10月12日（日）予定